資料２－６
（第30回監視円卓会議）

当初施設における総合防災訓練の実施結果について

１．実施日時　平成25年9月9日(月) 10時00分～11時05分(天候:晴れ)
２．場　所　　北海道事業所 当初施設
３．参加人員･装備【合計149名】
公設消防隊：隊員３２名、車両：９台（指令車１、消防車４、救急車１、機材搬送車両３）
日本環境安全事業(株)（ＪＥＳＣＯ）　：　２４名
室蘭環境プラントサービス(株)（ＭＥＰＳ）：　８６名

４．訓練の目的
今回の防災訓練は、当初施設が平成２０年５月に本格操業開始以降６回目となる。JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部が連携して、地震・火災発生時の現場での基本行動、役割分担、自衛防災組織活動、関係機関との連絡、避難行動、被災者の救出活動、消火器による消火活動等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認することを目的とした。

５．訓練概要
今回の訓練事象は、①地震発生(震度４程度)、②火災発生(大型／車載トランス解体エリア（管理区域レベル３）から出火)、③同エリアで漏洩発生、④同エリアで逃げ遅れた作業員が負傷しＰＣＢ汚染を受けるとともに歩行困難、という想定で実施した。
その結果、予定していた以下の訓練項目
（１）地震発生時の設備点検
（２）火災発生時の連絡・通報
（３）自衛防災隊設置
（４）消火活動（水消火器による放水、及び、公設消防による実放水）
（５）所員の避難、誘導
（６）負傷した作業員の救助（汚染エリアからの救出と公設消防への引き渡し、及び、公設消防による屋外救出及び除染テントでの除染並びに救急車による搬送）
（７）関係機関への通報・連絡
（８）自衛防災隊本部長から公設消防隊長への指揮権移譲と返還
を JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。

６．反省事項
訓練の反省会を９月１８日に実施した。主な反省点は以下のとおり。
⑴ ハード面
① 公設消防引継時の机が小さく、図面がはみ出てしまう。
→　適切な大きさのテーブルを準備する。

⑵ ソフト面

① 引継ぎ以降、JESCO から公設消防への情報提供が不十分であった。

→　公設消防の指揮隊に各本部長を参加させ、適時情報を提供する。

② 訓練場所に搬入業者が入ってきてしまった。

→　見学者と同様に避難誘導する。

③ 指揮本部や中央制御室が屋内にあるため、屋外で実施している状況が見えない。

→　公設消防の指揮隊に指揮本部長が参加し、トランシーバーで情報を伝達する。

④ 見学者ホールに避難した避難者への情報提供がない。

→　行政へＦＡＸした内容を避難場所に掲示する。

反省会の状況

７．訓練状況

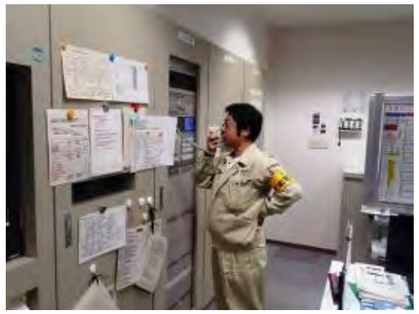
添付資料に訓練の写真（実施時刻入り）を示す。

以　上

2013年9月25日
JESCO安全対策課

平成25年度　当初施設総合防災訓練状況　(2013-9-9)

【実施日】　2013年9月9日(月)　10:00～11:05
【訓練目的】JESCO、MEPS、室蘭市消防本部が連携して、地震発生時の基本行動、役割分担、自衛防災組織活動、関係機関との連絡、被災者の救出、消火器による消火活動等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する.
【訓練内容】地震発生(震度4)を起因とし、タンクヤード火災発生による消火器での水消火と、PCB汚染負傷者の発生を想定した救助及び除染
【参加人員】MEPS86名、JESCO24名、公設消防32名、　合計142名；【消防車】9台(指令車1台、消防車4台、救急車1台、その他資機材搬送車等3台)


緊急地震速報受信　全館放送：中制

緊急地震速報放送後のMEPS事務所

MEPS職員　避難状況

MEPS職員　避難完了・点呼完了(49名)

所長へJESCO・MEPS避難完了報告

避難職員　見学者ホールへ避難

対策本部　設置完了

指揮本部　設置完了

消防隊　設置完了

連絡・渉外班による　連絡第1報(防災隊設置)

中央制御室より公設消防へ
火災発生・PCB汚染者発生を連絡

消防隊長　消防隊へ救助・除染・初期消火
作業環境測定・漏洩油分析
公設消防・救急隊の誘導　指示

消火班長　消火班員へ消火器による初期消火、
汚染箇所の除染を指示

サンプリング班長　班員へ作業環境測定、
汚染油採取を指示

避難誘導班長　班員へ公設消防隊・救急隊の
誘導を指示

消火班員　消火器による初期消火

対策本部長　連絡・渉外班長へ連絡第2報指示

消火班員　消防隊長へ初期消火失敗を連絡

避難誘導班による消防車の誘導

公設消防隊　到着

対策本部長より　公設消防隊長へ
状況説明、指揮権委譲

対策本部長より　公設消防隊長へ
出火場所、要除染救助者位置等説明

公設消防隊長　消火、被災者救助を指示

連絡・渉外班員　連絡第2報をFAX発信

公設消防隊　消火活動開始

公設消防隊　消火活動

公設消防隊　化学防護服装着

公設消防隊　被災者救助開始

公設消防隊による　被災者救助（作業スペース）

公設消防隊による要除染者の搬出（搬入室前）

公設消防隊による要除染者の除染作業

公設消防隊長　タンクヤード鎮火確認　報告確認

記録班長による対策本部　記録
（公設消防隊から対策本部長へ
除染・救助完了報告　指揮権の返還）

指揮本部長　消防隊長へ設備点検報告を指示

中央制御室　設備点検情報の収集

指揮本部長　対策本部長へ設備点検結果、
被災状況を報告

連絡渉外班　第3報（鎮火確認、救助完了、
除染完了・漏洩無し・・・自衛防災隊解散）を連絡

講評　整列状況

公設消防隊による講評

青木所長　挨拶